

日帰り緑内障手術について

緑内障とは？

緑内障は、何らかの原因で視神経が障害され視野（見える範囲）が狭くなる病気であり、眼圧の上昇がその病因の一つとされています。日本における中途失明原因の第1位と注意が必要な眼疾患です。

緑内障の症状

一般的に、自覚症状はほとんどなく、知らないうちに病気が進行していることが多くあります。視神経の障害はゆっくりとおこり、視野（見える範囲）も少しずつ狭くなっていくため、末期まで目に異常を感じることはありません。

失った視野は回復しませんので、眼圧を下げ進行を防止する点眼治療や手術による治療があります。

当院では

- ①手術をしないSLTレーザー治療と
- ②白内障手術と同時に行える低侵襲の緑内障手術を行う事ができます。

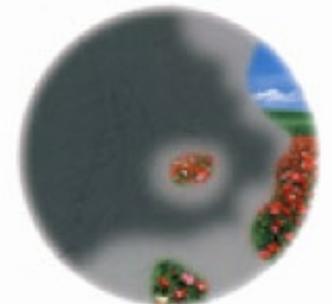
初期



中期



末期



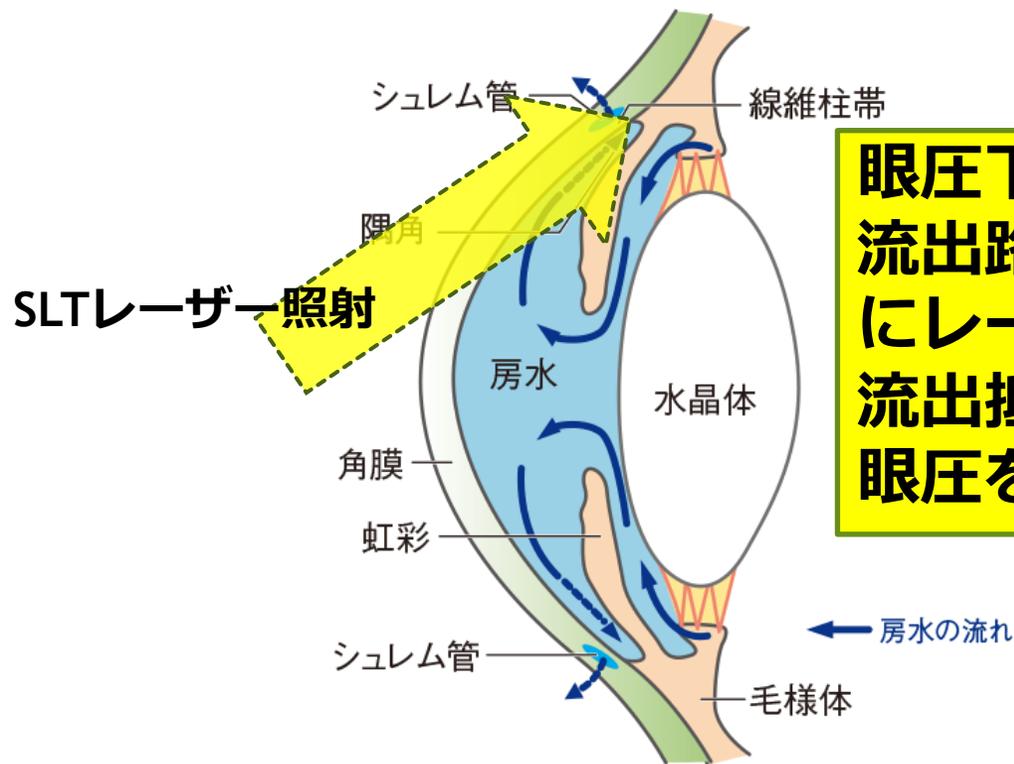
留萌・宗谷管内
初導入

緑内障 最新治療

切らずに
治療できる

一日帰りレーザー治療

SLT(選択的レーザー線維柱帯形成術)



眼圧下げるために
流出路の線維柱帯
にレーザーを照射し、
流出抵抗を下げて
眼圧を低下させます。

SLTレーザーのよくあるご質問

▶ 痛くないですか？

⇒低出力のレーザーなので術中・術後共に痛みはほとんどありません。

▶ 効き目は？

⇒眼圧が2～6mmHg低下すると言われており、緑内障点眼薬1本分に相当します。2～3年程度効果が持続する事が知られています。追加治療も可能です。

▶ 合併症は？

⇒ほとんどありませんが、合併症としては、術後早期には前房出血、虹彩炎、眼圧上昇などがあります。前房出血や虹彩炎は軽度の場合がほとんどで、抗炎症作用のある点眼により一週間以内にほとんどの場合治癒します。

▶ 料金は？

⇒1割負担で約10,000円、3割負担で約30,000円です。生命保険の適応になる場合があります。詳しくはご自身の加入されている保険会社へお問い合わせ下さい。

▶ すぐ仕事できる？

⇒翌日から普段通り仕事が出来ますが1週間程度軽い霞みを感じる事があります。

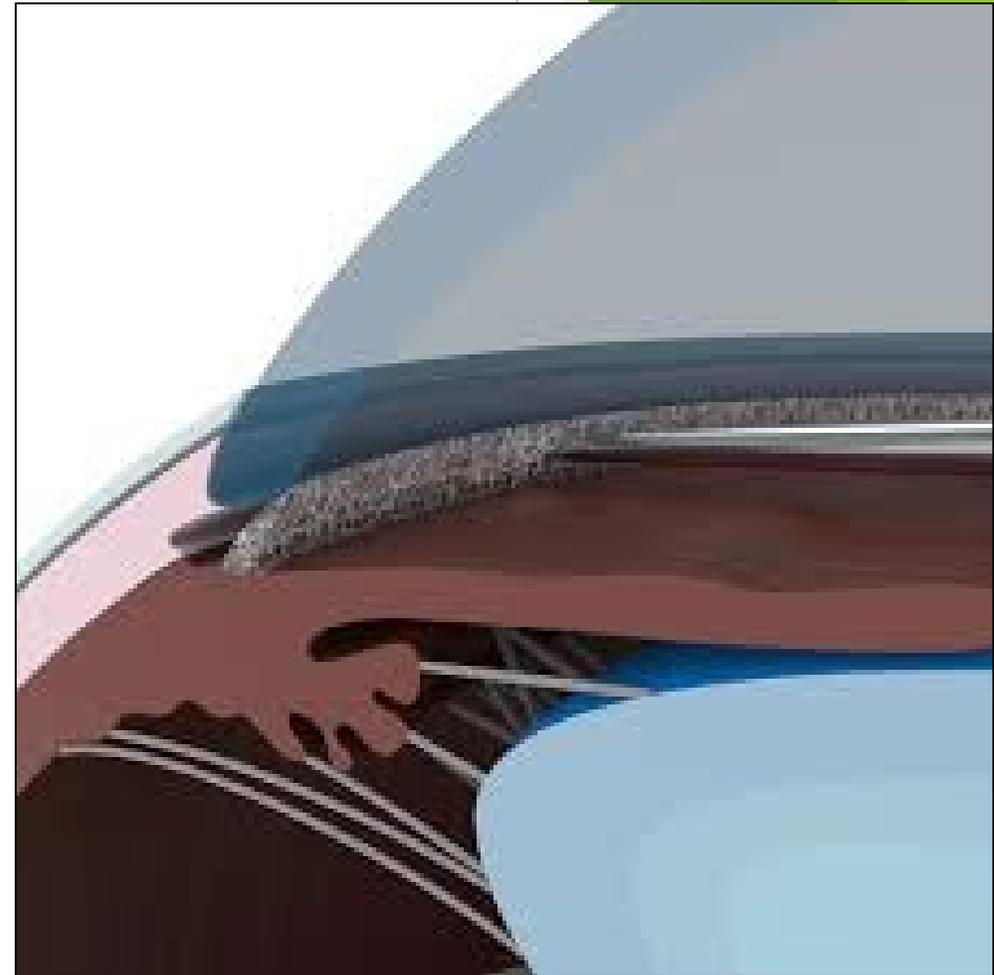
低侵襲な手術で治療もできる

小切開緑内障手術

マイクロフックトラベクトミー

白内障手術と同時に
施行可能なメリット

- ▶ 眼内から線維柱帯（シュレム管）を切開し、房水の流れを良くする手術です。**白内障と同時に手術**できるケースが多いです。手術後は一時的に眼内出血が見られ、視力が低下することがありますが、多くの場合数日から1週間程度で改善します。**翌日眼帯が外せます**。緑内障の手術は、**眼圧を下降させるもの**（進行を抑えるもの）で、視力向上や視野回復が期待できるものではありません。しかし、この手術により、術後の眼圧が低下すると術前に使用していた緑内障点眼薬を減らす事が出来る場合もあり、**生涯に渡る多くの点眼薬からのストレスを低減できる**というメリットがあると思います。



小切開緑内障手術

周術期の基本スケジュール

▶ ① 術前検査、説明、予約日の決定

* 高齢な方や視機能が低下している方は、術前から術翌日診察までは原則お付き添いが必要です。

▶ ② 手術当日

▶ ③ 手術翌日診察（基本的に眼帯が外れます）

▶ ④ 術後早期診察（3日後、1週間後、2週間後、1ヶ月後）

▶ ⑤ 術後後期診察は、眼症状をみながら個別対応です。

小切開緑内障手術 手術料金

▶ 白内障と同時で行う場合

- 1割負担
約 18,000円
- 2割負担
約 18,000円
- 3割負担
約 79,530円

▶ 単独手術の場合

- 1割負担
約 18,000円
- 2割負担
約 18,000円
- 3割負担
約 61,380円

1ヶ月の医療費が高額になる場合は、高額医療保険が使える場合があります。詳しくはスタッフまでお問い合わせ下さい。